

2021年1月29日

## 組織改編の件

株式会社商船三井（社長：池田潤一郎、本社東京都港区、以下「当社」）は2021年4月1日付で組織改編を行いますのでお知らせします。

1. 環境・サステナビリティ戦略部を設置

当社グループの環境戦略とサステナビリティ課題への取り組みを統括し、それを全社横断的に推進していくための組織として、環境・サステナビリティ戦略部を設置します。これにより、環境戦略・サステナビリティ推進に関する業務、およびモーリシャスにおける環境・社会貢献活動に関する業務を、経営企画部から環境・サステナビリティ戦略部へ移管し、その一層の拡充を図ります。

2. 商船三井ドライバルク株式会社を設立

当社の不定期船事業、木材チップ船事業、および鉄鋼産業・国内電力向けを除くパナマックス事業と商船三井近海株式会社（商船三井 100%出資、本社：東京都港区、社長：永田健一）を事業・組織統合し、商船三井ドライバルク株式会社（以下、商船三井ドライバルク）を設立します。統合に伴い、当社の不定期船部、及び木材チップ船部は廃止します。商船三井ドライバルクは当社のドライバルク営業本部直属の組織として、事業を行います。

詳細は2021年1月29日付けプレスリリース「ドライバルク事業に関するグループ内組織再編」をご参照ください。

3. エネルギー・海洋事業営業本部の設置

当社経営計画「ローリングプラン2020」の中でエネルギー輸送営業本部が掲げる、輸送に限らない事業分野の確立と海洋事業への重点投資を名称にも反映し、エネルギー・海洋事業営業本部と改称します。

4. 電力カーボンプロジェクト部の設置

社会や国内電力会社をはじめとしたお客様のニーズの多様化に応え、従来の燃料輸送に加えて脱炭素化に向けたソリューションを提供する組織として、石炭・再生エネルギープロジェクト部は電力カーボンプロジェクト部に改称します。

5. 風力エネルギー事業部の設置

洋上風力発電関連分野に特化した組織として、風力エネルギー事業部を設置し、その取り組みの拡充とスピードアップを図ります。

6. 北海道支店の設立

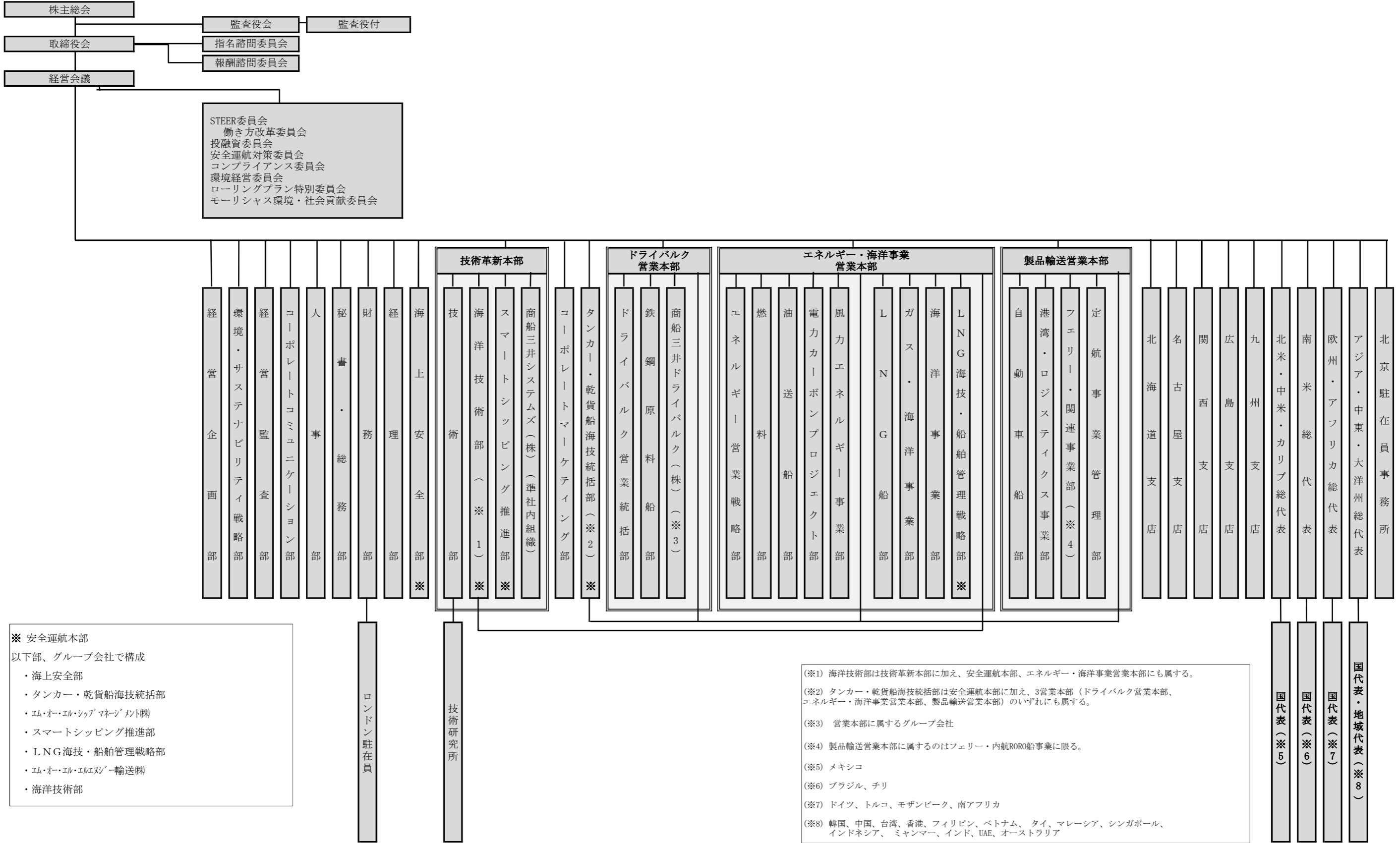
北海道における当社グループの営業体制強化と関係先とのネットワーク拡充を目的に、北海道支店を設立します。

2021年4月1日以降の各営業本部の構成は下表の通りです。下線部が今回の組織改編に伴う変更です。

ドライバルク営業本部	ドライバルク営業統括部 鉄鋼原料船部 <u>商船三井ドライバルク</u> タンカー・乾貨船海技統括部
<u>エネルギー・海洋事業営業本部</u>	エネルギー営業戦略部 燃料部 油送船部 <u>電力カーボンプロジェクト部</u> <u>風力エネルギー事業部</u> 海洋技術部 タンカー・乾貨船海技統括部 LNG 船部 ガス・海洋事業部 海洋事業部 LNG 海技・船舶管理戦略部
製品輸送営業本部	自動車船部 港湾・ロジスティクス事業部 フェリー・関連事業部 定航事業管理部 タンカー・乾貨船海技統括部

以上

会社組織図



※ 安全運航本部  
以下部、グループ会社で構成

- 海上安全部
- タンカー・乾貨船海技統括部
- EM・オー・エル・シップ マネジメント(株)
- スマート SHIPPING 推進部
- LNG海技・船舶管理戦略部
- EM・オー・エル・エルエスジール輸送(株)
- 海洋技術部

(※1) 海洋技術部は技術革新本部に加え、安全運航本部、エネルギー・海洋事業営業本部にも属する。  
(※2) タンカー・乾貨船海技統括部は安全運航本部に加え、3営業本部（ドライバルク営業本部、エネルギー・海洋事業営業本部、製品輸送営業本部）のいずれにも属する。  
(※3) 営業本部に属するグループ会社  
(※4) 製品輸送営業本部に属するのはフェリー・内航RORO船事業に限る。  
(※5) メキシコ  
(※6) ブラジル、チリ  
(※7) ドイツ、トルコ、モザンビーク、南アフリカ  
(※8) 韓国、中国、台湾、香港、フィリピン、ベトナム、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ミャンマー、インド、UAE、オーストラリア

国代表 (※5)  
国代表 (※6)  
国代表 (※7)  
国代表・地域代表 (※8)